

真珠養殖事業化技術開発に関する研究

研究部

背景、目的

全国の真珠養殖産地でアコヤガイの病気が蔓延して真珠の小型化や品質の低下が起こるなか、本県相島地先で天然アコヤガイが発見されました。そこで、このアコヤガイを用いた真珠養殖の可能性を検討しました。

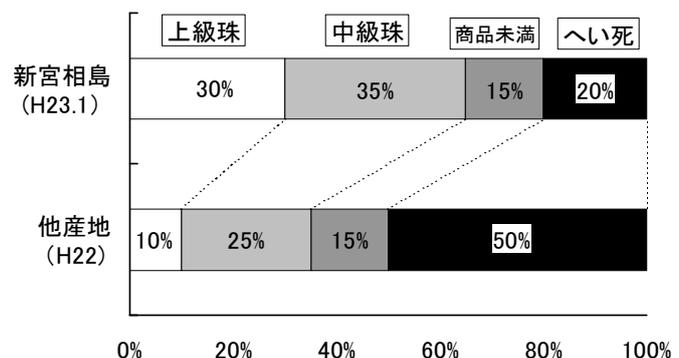
成果の概要

(1) 本県海域の評価

本県相島で、天然稚貝を用いて真珠養殖試験を実施しました。その結果、他産地と比較して上級珠（シミやキズの少ない上物）の割合が高く、また病気が発生していないため長期間の養殖で大型の珠を作ることが可能な、世界的にも貴重な真珠養殖地であることがわかりました。



杉葉による天然稚貝採苗



真珠の評価（H23.1）

(2) 本格養殖の開始

センターでは、相島を高級真珠の貴重な生産地として保護するため、防疫指導や漁場環境の調査、ピース貝の選抜などを実施しました。この成果を受け平成19年から本格的な養殖が始まっています。収穫された真珠は他産地よりも上級珠の割合が高く、また、10mm以上の大珠真珠も見られています。



防疫看板の設置



相島でとれた上質・大珠の真珠